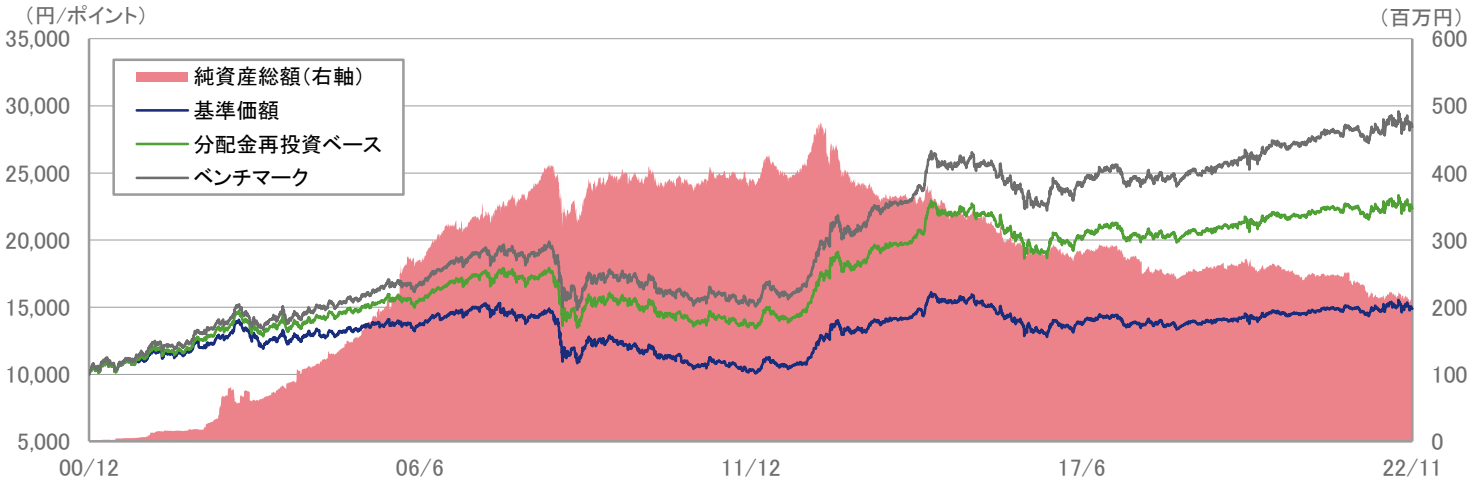


■ 基準価額・純資産総額の設定来推移



※1 分配金再投資ベースは分配金(課税前)を再投資したものと計算しており、分配金があった場合は実際の基準価額とは異なります。
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに値は異なります。
※2 ベンチマークの設定来推移は、設定日を10,000として指数化したものです。
※3 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■ 設定来の運用実績

	基準価額 (分配金再投資)		ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス(除く 日本、当社円換算ベース))		差異 ①-② (%)
	(円)	①騰落率(%)	(ポイント)	②騰落率(%)	
当月末	22,347	-	130,450	-	-
過去1ヵ月	23,047	-3.04	134,356	-2.91	-0.13
過去3ヵ月	22,611	-1.17	131,430	-0.75	-0.42
過去6ヵ月	22,278	0.31	129,451	0.77	-0.46
過去1年	22,355	-0.03	129,217	0.95	-0.99
過去3年	21,133	5.75	118,547	10.04	-4.29
設定日来	10,000	123.47	45,871	184.39	-60.92

※1 基準価額騰落率(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(課税前)を再投資した場合の騰落率です。
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに騰落率は異なります。
※2 基準価額騰落率は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■ 基準価額と純資産総額

	当月末	前月末	前月末比
基準価額 (円)	14,881	15,347	-466
純資産総額 (百万円)	209	216	-7

※ 月中に分配があった場合の基準日の基準価額は、分配金込みです。

	基準価額 (円)	日付
設定来高値	16,117	2014年12月8日
設定来安値	10,000	2000年12月22日

※1 基準価額は信託報酬等控除後で算出されます。
※2 設定来高値及び設定来安値は分配落ち後の基準価額で、該当した日付が複数日ある場合には、その初日を表示しております。

■ 運用資産構成比率

ファンド	比率(%)
外国債券	98.4
短期資産等	1.6
合計	100.0

※1 比率はベビーファンドの実質組入比率(純資産総額比)です。
※2 短期資産等には、コール、CD、CP、現先、未収金、未払金等が含まれます。

■ 分配実績

決算年月日	分配金 (課税前) (円)
2022/10/17	0
2021/10/18	0
2020/10/16	40
2019/10/16	100
2018/10/16	110
2017/10/16	130
設定来合計	5,259

※ 1万口当たりの実績です。

■ 運用概況

当月末の基準価額は、14,881円(前月比-466円)となりました。
また、税引き前分配金を再投資した場合の月間騰落率は-3.04%となり、ベンチマークの月間騰落率は-2.91%となりました。

<運用担当者のコメント>

■ 11月の市場動向と運用状況

当月のパフォーマンス推移



※ 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

<参考／基準価額の要因分解>

	(単位:円)	(単位:%)
	基準価額	月次騰落率
2022年11月30日	14,881	-
2022年10月31日	15,347	-
増減	-466	-3.04
債券要因	278	1.81
キャピタル	256	1.67
うち現物	(256)	(1.67)
うち先物	(-)	(-)
インカム	22	0.15
為替要因	-728	-4.74
小計	-449	-2.93
その他要因	-17	-0.11
要因合計	-466	-3.04

※ 上記の要因分解は、主要項目別に寄与度を概算した参考値です。
※ 月中に分配があった場合の基準日の基準価額は、分配金込みです。

市場動向

米国金利は、堅調な国債入札結果に加え、米国物価指標の鈍化を受けて利上げペース鈍化の期待が浮上したことから低下しました。独国金利は、予想対比軟調な米欧物価指標から米欧中央銀行による利上げペースの減速期待が強まったことを背景に低下しました。為替については、ドルは、米国の利上げペース減速期待が醸成され米国長期金利が低下する中で、円に対してドル安となりました。ユーロは、各国中央銀行による金融引き締め姿勢の緩和期待の高まりや欧州長期金利の低下を背景に円に対してユーロ安となりました。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

ファンド・レビュー

11月のファンドのパフォーマンスは前月比-3.04%、ベンチマークのパフォーマンスは前月比-2.91%、ファンドのベンチマークに対する相対パフォーマンスは-0.13%となりました。

当ファンドが組入れているマザーファンド(ドルベース)の11月のパフォーマンスをベンチマークと基準を揃えて比較すると、ファンドのパフォーマンスは以下の要因から、ベンチマークと同程度となりました。

- (+) デュレーション戦略の寄与はプラス寄与となりました。米国国債ならびにオーストラリア国債をオーバーウェイトとしたことは、主要先進国におけるインフレ緩和の兆しを背景に世界的に国債利回りが低下したことを受けてプラスに寄与しました。ドイツ国債をアンダーウェイトとしたことはマイナスに寄与しました。
- (0) 通貨戦略の寄与は中立となりました。
- (-) 国別配分戦略の寄与はマイナス寄与となりました。ドイツ国債に対してユーロ圏周辺国債をアンダーウェイトとしたことは、欧州中央銀行(以下「ECB」という)高官によるタカ派な発言があったものの、予想対比較調な欧州物価指標を背景に周辺国スプレッド(ドイツ国債と周辺国債の利回り較差)が縮小したことを受けてマイナスに寄与しました。
- (0) イールドカーブ戦略の寄与は中立となりました。
- (+) 信用戦略の寄与はプラス寄与となりました。投資適格社債の選別的な保有は、米連邦準備制度理事会(以下「FRB」という)の金融引き締め姿勢にかかる緩和期待が高まったことや、7-9月期の米国企業決算が概ね予想通りの結果だったことを背景にクレジットスプレッド(米国国債と投資適格社債の利回り較差)が縮小したことを受けてプラスに寄与しました。

■ 今後の市場見通しと運用方針

■ 多くの主要国において経済成長の鈍化が観測されますが、主要中央銀行は世界的な景気減速の初期局面に至るまで金融引き締め姿勢を緩めず、結果としてインフレは緩やかに正常化に向かう見込みです。中期的には、脱グローバル化や財政拡大といった構造的なインフレ上昇要因を背景とした金利上昇を想定しますが、そのためには世界的な景気サイクルの底打ちおよび経済成長の安定化・再加速が確認される必要があると考えられ、市場は当面当該要因を織り込まないと想定されます。市場は政策金利の更なる上昇や高止まりの可能性よりも、FRBの利上げペース減速に注目しています。FRBはインフレが目標を上回り、経済が減速する中、深刻な景気後退を回避しつつインフレを抑制する難しい舵取りを迫られています。また、量的緩和(QE)によって各国間における民間債務水準の格差が拡大しており、特にスウェーデン、ノルウェー、オーストラリア、ニュージーランド、カナダなどの住宅市場においては債務増加が顕著となっています。こうした状況の中、デュレーションを機動的に調整しつつ、ユーロ圏の国債(コア国および周辺国)のデュレーションをアンダーウェイトとすることを検討します。また、金融システムの不安定化や景気減速懸念を背景に、一部の中央銀行では利上げペース減速や利上げ停止の可能性があると見て、スウェーデン国債、オーストラリア国債、ニュージーランド国債をオーバーウェイトとすることを検討します。通貨別では、英ポンドについては引き続き慎重姿勢を維持することを検討します。

- 債券:
 - 【北米】米国の景気サイクルは長期化する可能性が高まっています。FRBは来年の前半にかけて政策金利水準を5.00~5.25%程度に引き上げるとともに、金融引き締めが消費や雇用に想定以上の悪影響を与えた証拠を確認するまでは政策金利を維持する見込みです。米国経済は金融環境の引き締めに伴い減速しつつありますが、労働市場は依然として逼迫しています。貯蓄率は大きく低下しており、これは短期的には個人消費を下支えするものの、現在のペースでは来年の半ばにかけて余力が底をつく見通しです。インフレについては循環的に低下の兆しが見られており、供給制約の緩和を受けて財コアインフレは顕著に鈍化していますが、労働需給の逼迫による賃金上昇を主因としたサービスコアインフレの高止まりが継続している中、この趨勢がFRBの金融政策動向にとって最後の焦点となります。こうした中、米国国債のデュレーションを機動的に変更する方針です。
 - 【ユーロ圏】ユーロ圏の総合インフレ率は頭打ちした可能性が高いものの、今後数か月は現在の水準で高止まりすると想定されます。来年においては総合およびコアインフレ率とも低下するものの、ECBの想定を上回って推移すると見込みです。ユーロ圏は過去10年間、世界のデysinフレの源泉であり、コアインフレ率は主要先進国平均を下回ってきましたが、今後数年間は過去の水準や主要先進国平均を上回って推移する可能性が高いと見えています。こうした中、ユーロ圏の国債のデュレーションをアンダーウェイトとする方針です。
 - 【英国】英国の経済活動は鈍化しています。イングランド銀行(以下「BOE」という)がインフレを抑制するまでに、どの程度景気減速を許容できるかが焦点となります。物価安定のためには、大幅な金融引き締めによる相当程度のGDP縮小や失業率上昇が必要で、BOEのチーフエコノミストが利上げ到達点を最大で5.25%と示唆したように、BOEがそうした大きな経済的代償を払うことは想定し難い状況です。サービス部門のインフレは予想を上回り賃金も高水準にあるものの、期待インフレは低下傾向にあります。BOEが将来の物価安定を確信するために必要と考えられるインフレと失業率の水準に、来年3月頃にも達する可能性がある点には留意が必要です。こうした中、英国国債のデュレーションを機動的に調整する方針です。
- 通貨:
 - 【米ドル】FRBが「アメリカ例外主義」に傾斜しているとも見られる中、米ドルなど、米国の経済成長に感応度の高い資産はアンダーパフォームする可能性があります。こうした中、米ドルについてネガティブな見方を維持しています。
 - 【ユーロ】ユーロはスタグフレーション(景気後退とインフレの同時進行)に陥る可能性はあるものの、今冬のエネルギー危機の最悪シナリオを回避する可能性が高く、短期的なリスクは緩和しています。こうした中、ユーロについては機動的にポジティブな見方を維持しています。
 - 【英ポンド】制度的な不確実性や、成長を犠牲にしてもインフレを抑制する姿勢を背景に、英ポンドについては中期的にネガティブな見方をしています。インフレは一時的なものであるというBOEの認識は、タカ派寄りのFRBとは対照的です。こうした中、英ポンドをアンダーウェイトとする方針です。

※運用担当者のコメントは11月末時点のものです。また、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

<マザーファンドの運用状況>

■ 国別組入比率とデュレーション

国名	① 組入比率 (%)		② 修正デュレーション(年)	
	ファンド*	ベンチマーク	ファンド*	ベンチマーク
米国	51.5	50.6	6.12	6.11
カナダ	4.9	2.1	5.39	7.13
イギリス	3.7	4.8	13.36	10.99
ユーロ	30.8	33.7	7.13	7.53
ドイツ	3.1	6.7	9.92	7.41
フランス	9.0	8.6	7.13	7.88
アイルランド	0.6	0.6	5.66	7.92
イタリア	7.0	7.5	5.59	6.61
オーストリア	0.9	1.2	11.90	9.10
オランダ	2.9	1.6	6.60	8.44
スペイン	4.9	5.0	7.08	7.11
フィンランド	0.5	0.5	7.79	7.88
ベルギー	2.0	1.9	8.45	9.03
ポルトガル	-	-	-	-
スウェーデン	0.2	0.2	8.25	6.27
ポーランド	0.5	0.4	3.21	3.79
デンマーク	0.3	0.3	12.08	9.24
ノルウェー	0.2	0.2	5.36	4.50
オーストラリア	1.6	1.6	8.92	6.97
シンガポール	0.7	0.5	4.75	7.77
マレーシア	-	0.5	-	7.16
メキシコ	0.7	0.9	5.72	4.69
イスラエル	0.4	0.4	6.23	6.10
中国	3.0	3.5	5.83	5.80
ニュージーランド	0.2	0.2	17.97	6.51
その他の国	0.3	-	2.19	-
債券合計	98.9	100.0	6.72	6.84
その他	1.1	-	-	-
合計	100.0	100.0	-	-

※ 比率は純資産総額対比です。

■ 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	国名	通貨	クーポン(%)	償還日	組入比率(%)	分類
1	T-NOTE 0.75 260831	アメリカ	米ドル	0.750	2026/8/31	12.5	国債
2	T-NOTE 2.5 240515	アメリカ	米ドル	2.500	2024/5/15	5.8	国債
3	T-NOTE 2.625 270531	アメリカ	米ドル	2.625	2027/5/31	4.5	国債
4	T-NOTE 2.875 320515	アメリカ	米ドル	2.875	2032/5/15	4.4	国債
5	T-NOTE 2.75 270731	アメリカ	米ドル	2.750	2027/7/31	3.1	国債
6	BTPS 0 260401	イタリア	ユーロ	0.000	2026/4/1	3.0	国債
7	OAT 0 270225	フランス	ユーロ	0.000	2027/2/25	3.0	国債
8	SPA GOVT 0 260131	スペイン	ユーロ	0.000	2026/1/31	2.3	国債
9	T-BOND 2.0 510815	アメリカ	米ドル	2.000	2051/8/15	1.8	国債
10	T-BOND 3.0 480215	アメリカ	米ドル	3.000	2048/2/15	1.6	国債

※ 比率は外国債券現物対比です。

■ 通貨別組入比率

(%)

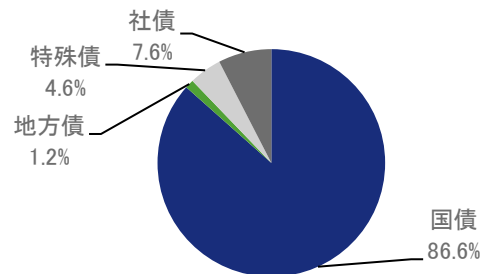
通貨	ファンド*	ベンチマーク	差
米ドル	50.0	50.6	-0.6
ユーロ	34.1	33.7	0.4
英ポンド	4.4	4.8	-0.4
カナダドル	2.1	2.1	0.0
その他(円除く)	8.9	8.8	0.1
合計	99.5	100.0	-0.5

※ 比率は純資産総額対比です。

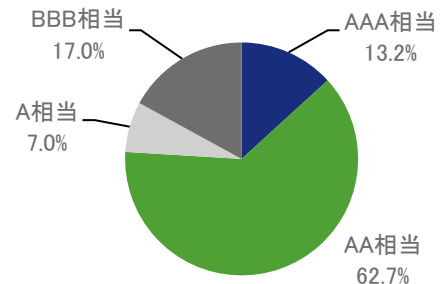
■ 保有債券の属性

	ファンド*	ベンチマーク	差
平均利回り(%)	3.59	3.48	0.11
平均クーポン(%)	1.68	1.98	-0.30
平均残存期間(年)	8.87	9.03	-0.16
修正デュレーション(年)	6.72	6.84	-0.13

■ セクター別組入比率



■ 格付別組入比率



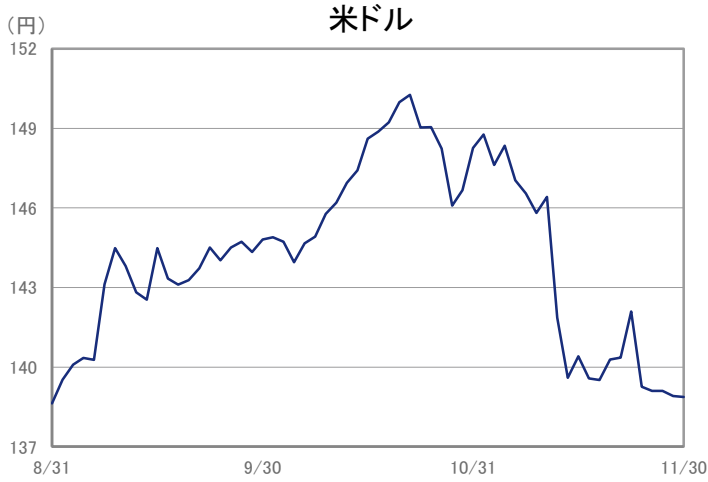
※1 比率は外国債券現物対比です。

※2 格付けは、原則としてS&P社、Moody's社のうち低位のものを採用しています。

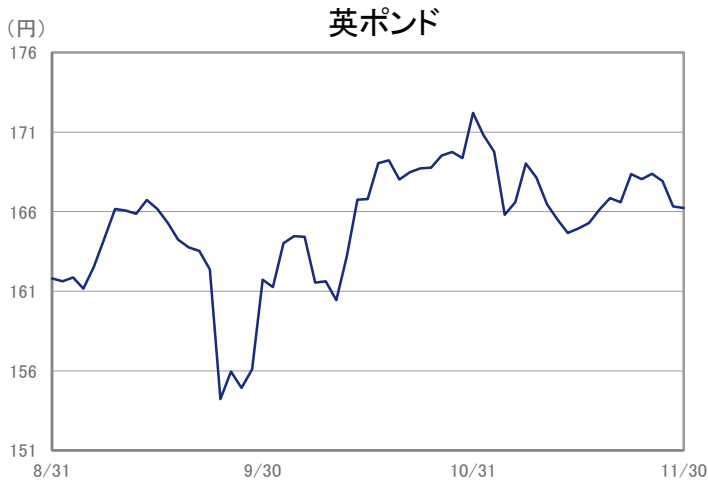
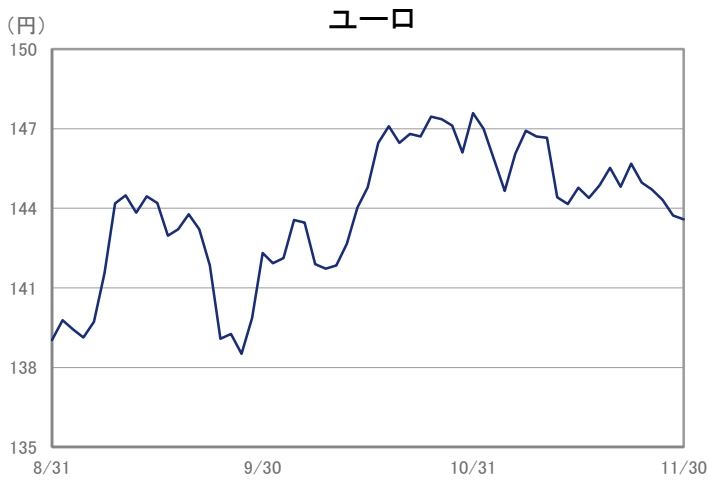
組入銘柄数: 171銘柄

<参考>市場動向(マーケット指標の推移)

■ 為替相場



■ 債券市場



当ファンドは、公社債などの値動きを生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。従って元金が保証されるものではありません。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。投資信託は貯金(預金)保険制度の対象ではありません。当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

商品の特色

- 当ファンドは、JA海外債券マザーファンドを主要投資対象とし、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の公社債を中心に投資を行います。
- マザーファンドの運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、ウエリントン・マネージメント香港リミテッドおよびウエリントン・マネージメント・インターナショナル・リミテッドに外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限を委託します。
- 当社が円ベースに換算したFTSE世界国債インデックス(除く日本)をベンチマークとし、ファンダメンタルズ分析と計量分析を併用した手法により運用を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ポートフォリオ全体の平均格付(保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したもの)は、原則としてA格以上を維持することとします。外貨建資産については、原則として対円為替ヘッジは行いません。

■ お申込みメモ

購入単位	<通常の申込> 販売会社が定める単位 <確定拠出年金制度に基づく申込> 1円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社の指定する日までにお支払いください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を差し引いた価額となります。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目から支払いを行います。
申込締切時間	原則として午後3時までとなります。(ただし、受付時間は販売会社により異なる場合もありますので、詳細につきましては販売会社までお問い合わせください。)
申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、購入・換金の申込受付を行いません。(詳しくは、販売会社または委託会社にお問い合わせください。)
換金制限	信託財産の資産管理を円滑に行うために大口の換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止等により購入・換金の申込受付が中止または取消しとなることがあります。
信託期間	無期限(設定日: 2000年12月22日)
繰上償還	受益権の総口数が5億口を下回った場合などには、繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年10月16日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎年10月の決算時に分配を行います。販売会社との契約によっては、税引き後、無手数料で再投資が可能です。(年1回)
信託金の限度額	1兆円を限度とします。
公告	委託会社が投資者(受益者)に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年10月の決算時及び償還後に交付運用報告書を作成し、販売会社より知れている投資者(受益者)に対して交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。なお、税制が改正された場合等には変更される場合があります。

※ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、購入、換金のお申込みの受け付けを行いません。金融商品取引所や外国金融商品市場における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、購入、換金のお申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた購入、換金のお申込みを取り消す場合があります。

■ 委託会社、その他の関係法人

- 委託会社 : 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第372号 一般社団法人 投資信託協会会員/一般社団法人 日本投資顧問業協会会員)
信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。
: ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、ウエリントン・マネージメント香港リミテッドおよびウエリントン・マネージメント・インターナショナル・リミテッド(投資顧問会社)
当ファンドの直接の関係法人ではありませんが、委託会社よりJA海外債券マザーファンドにおける外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等を行います。
- 受託会社 : 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)
追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
- 販売会社 : 以下をご覧ください。
ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

販売会社等につきましては、以下の照会先までお問い合わせください。

◆ 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
ホームページ : <https://www.ja-asset.co.jp/>
フリーダイヤル : 0120-439-244(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

お申込、投資信託説明書(交付目論見書)のご提供は

主なリスクと費用

下記の事項は、この投資信託(以下、「当ファンド」という。)をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

■ 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、主に日本を除く世界各国の公社債を実質的な投資対象としますので、海外金利の上昇による組入公社債の価格の下落や、組入公社債の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「金利変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

■ 当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	<p><通常の申込> 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が個別に定める手数料率を乗じた額です。ご購入時の手数料率の上限は1.65%(税抜1.5%)です。</p> <p><確定拠出年金制度に基づく申込> 無手数料</p>
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.20%を乗じた額を、換金時にご負担いただきます。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用(信託報酬)	毎日、純資産総額に年1.32%(税抜1.20%)を乗じた額を計上します。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日及び毎計算期間末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	<p>監査費用は、毎日、純資産総額に年0.0033%(税抜0.003%)を乗じた額を計上します。毎計算期間末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。</p> <p>有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等は、その都度信託財産中から支払われます。</p> <p>※運用状況により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p>

※ファンドの費用の合計額は、投資者の皆様がファンドを保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

留意事項

- 当資料は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(以下、「当社」といいます。)が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は当社が信頼できると判断したデータ等により作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。市場環境等の見直しにつきましても、その確実性を保証するものではありません。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。
- 当ファンドは、公社債などの値動きの生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金および収益分配が保証されるものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。
- 投資信託は預貯金や保険商品とは異なり、預金(貯金)保険機構、保険契約者保護機構の保護対象ではありません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。
- ご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受取りいただき、詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。
- FTSE世界国債インデックス(除く日本・当社円換算ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックス、FTSE世界国債インデックス(米ドルベース)をもとに、FTSE Fixed Income LLCの承諾を得たうえで、当社が独自に円換算したものです。